

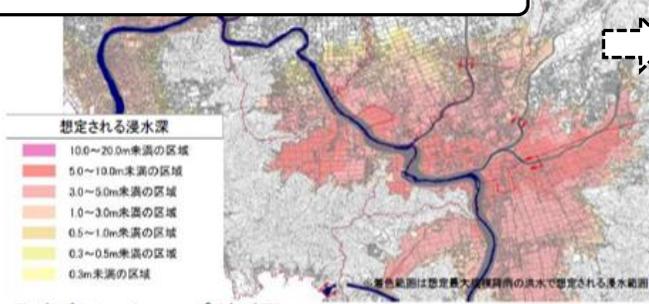
高津川水系内外水統合型リスクマップの公表



1. 多段階の浸水想定図、水害リスクマップの概要 ①作成の目的 国土交通省

- 水害リスクを踏まえたまちづくりや住まい方の工夫、企業の立地選択、企業における事業継続計画の作成等流域治水の取組を推進するため、浸水の生じやすさや発生する頻度を示す新たな水害リスク情報を整備し、水害リスクの充実を図る必要がある。
- 上記を踏まえ、これまでに作成した想定最大規模や計画規模よりも発生頻度の高い降雨規模の場合に想定される浸水範囲や浸水深を明らかにした「**多段階の浸水想定図**」と浸水頻度を示す「**水害リスクマップ**」を作成。

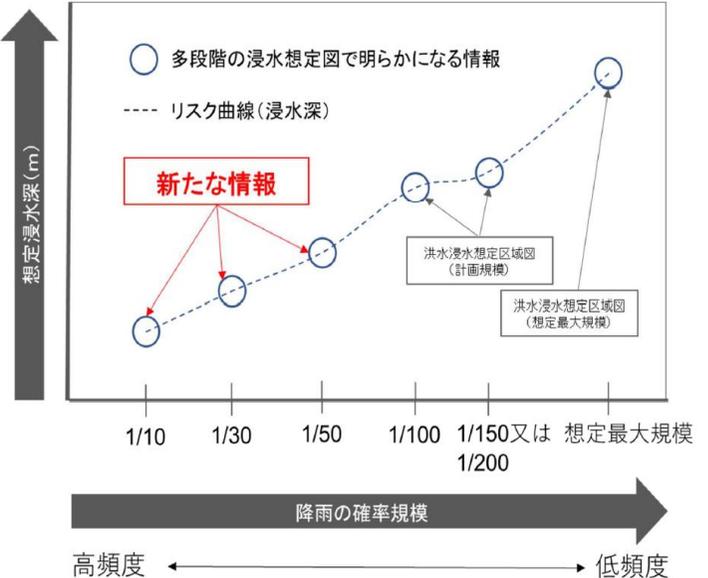
水害ハザードマップ（洪水浸水想定区域図）



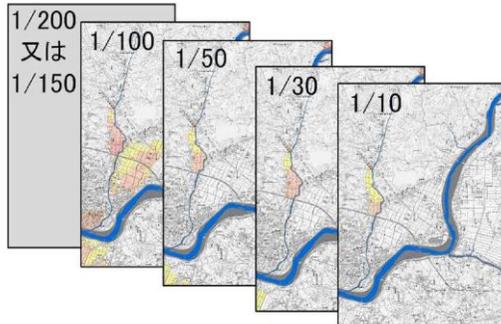
■これまでは、想定最大規模降雨の洪水で想定される浸水深を表示した水害ハザードマップを提供。
 ■避難計画や避難行動に用いる場合には有効であるものの、浸水の生じやすさや浸水が発生する頻度が明らかにはなっていない。

※水害リスクは、河川氾濫や内水氾濫等による水害の「発生確率」と「被害規模」の組合せで表現される

○下図は、横軸に降雨の確率規模（発生確率）、縦軸に想定浸水深（被害規模）を表したイメージ図。

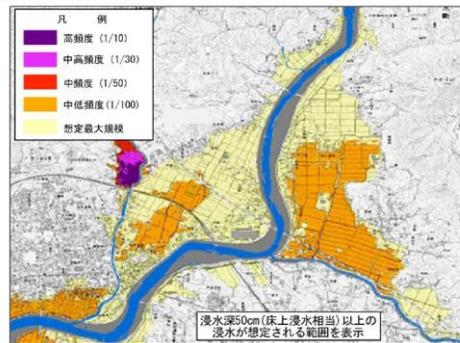


多段階の浸水想定図



■高頻度～中頻度～低頻度で発生する降雨規模毎（年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150 又は1/200）に作成した浸水想定図。

水害リスクマップ（浸水頻度図）



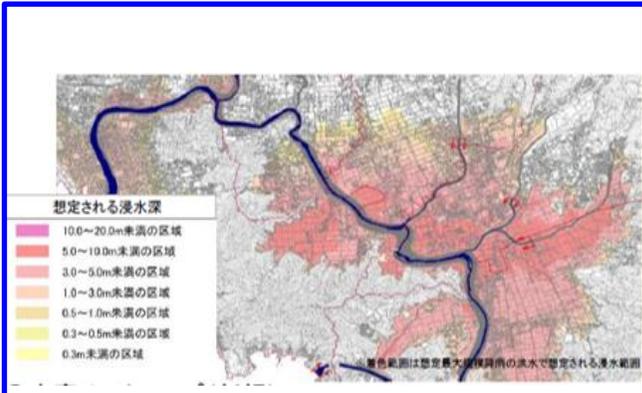
■多段階の浸水想定図を用いて、降雨規模毎の浸水範囲を浸水深毎（0.0m 以上、0.5m以上（床上浸水以上）、3.0m 以上（1階軒下浸水以上））に重ね合わせて作成した図面。

■現在のリスクに加え、将来のリスクも提示
 ■土地利用規制や居住の誘導を促進
 ■きめ細やかな企業BCPの作成への活用、水害保険への水害リスクの反映 等

1. 多段階の浸水想定図、水害リスクマップの概要

○水害ハザードマップ（洪水浸水想定区域図）：洪水時の迅速かつ円滑な避難行動を行うために活用。
○多段階の浸水想定図・水害リスクマップ：洪水を踏まえた、土地利用や住まい方の工夫、企業の立地選択、防災まちづくりの検討などに活用。

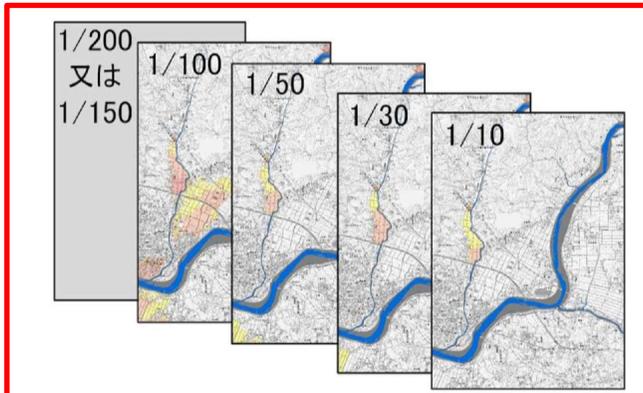
水害ハザードマップ (洪水浸水想定区域図)



- 水防法により作成が義務付け
- どのような規模の災害が起きた場合でも、人々が確実に避難できることを主目的として、100～200年に1度や1000年に1度程度の雨量といった大規模な災害を想定

洪水時の迅速かつ円滑な避難行動を行うために活用

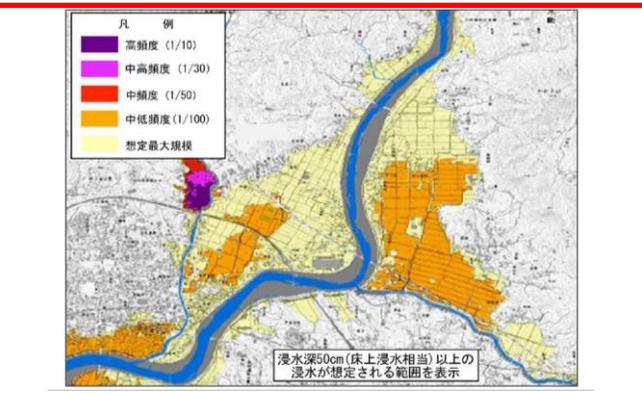
多段階の浸水想定図



- 作成は任意(法律による義務なし)
- 現実的な浸水対策を立案する目的で、細かな確率規模別(高・中頻度の規模: 1/10、1/30、1/50)のリスク情報を追加
- 大河川の氾濫発生前の浸水状況や規模が小さい洪水による浸水状況(小河川や水路等からの内水氾濫)の情報を追加
- 浸水深別(浸水発生、50cm以上浸水、3m以上浸水)の浸水頻度を視覚化

洪水を踏まえた、土地利用や住まい方の工夫、企業の立地選択、防災まちづくりの検討などに活用

水害リスクマップ



1. 多段階の浸水想定図、水害リスクマップの概要

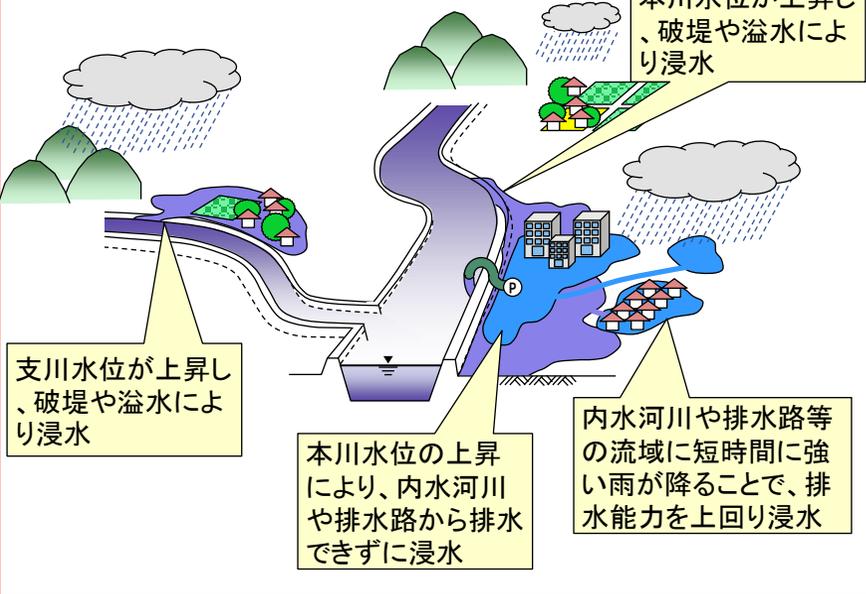
④内外水一体型リスクマップの必要性

<内外水一体型リスクマップの必要性>

- これまでの洪水浸水想定区域図は本川からの外水氾濫のみを対象とするものであったが、一般にその治水安全度の違いから本川氾濫に先んじて内水氾濫、支川氾濫が生じるケースが多く、高頻度、中高頻度の外力に対しては本川氾濫よりもこれらの氾濫が支配的になる場合も多い。
- 防災まちづくりに活かす際には、大川、中小川、下水道の浸水リスクを統合化することが重要で、本川氾濫だけでなく、支川氾濫や内水氾濫も表現可能なモデルとすることが必要となる。

様々な浸水リスクを統合した内外水一体型の水害リスクマップを作成

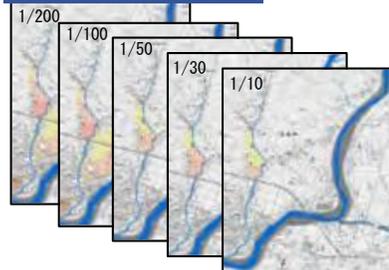
<内・外水一体型氾濫>



本支川・内外水一体型の氾濫解析イメージ

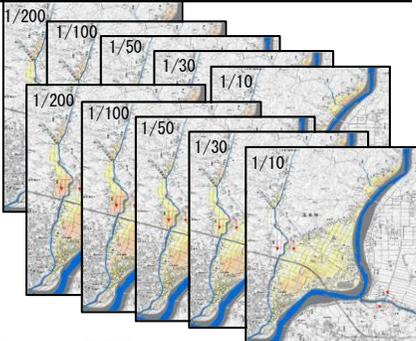
多段階の浸水想定図

主要河川の浸水解析



①主要河川氾濫型降雨シナリオ

支川・内水氾濫の浸水解析



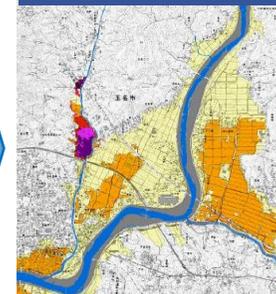
②支川氾濫型降雨シナリオ

③内水氾濫型降雨シナリオ

重ね合わせ

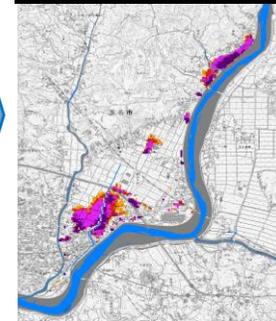
重ね合わせ

主要河川の水害リスクマップ

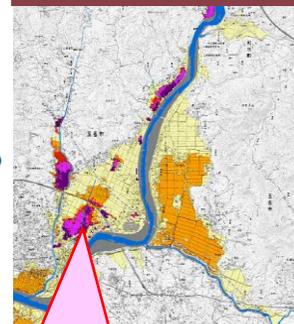


重ね合わせ

支川・内水氾濫の水害リスクマップ

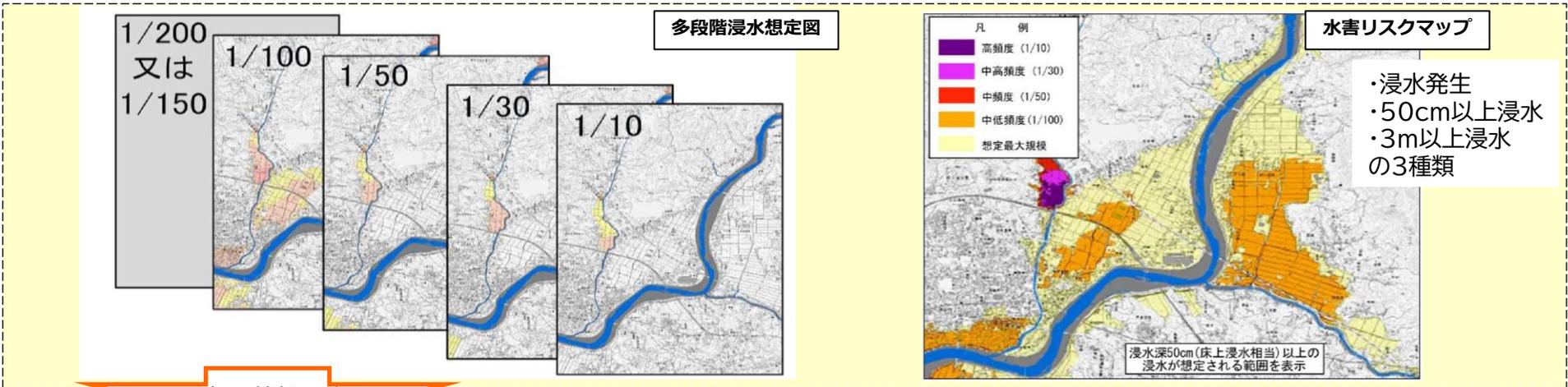


内外水統合の水害リスクマップ

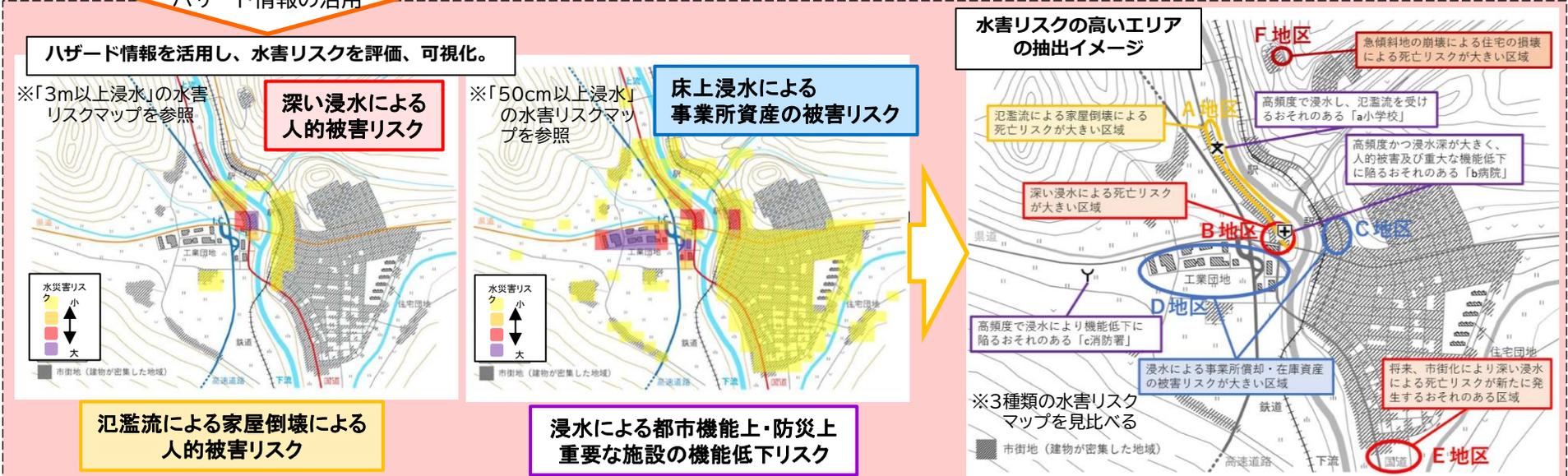


外水のみでは1/100以下で浸水してなかった地区においても、内水により高頻度(1/10等)で浸水する可能性があることなどが明確になる。

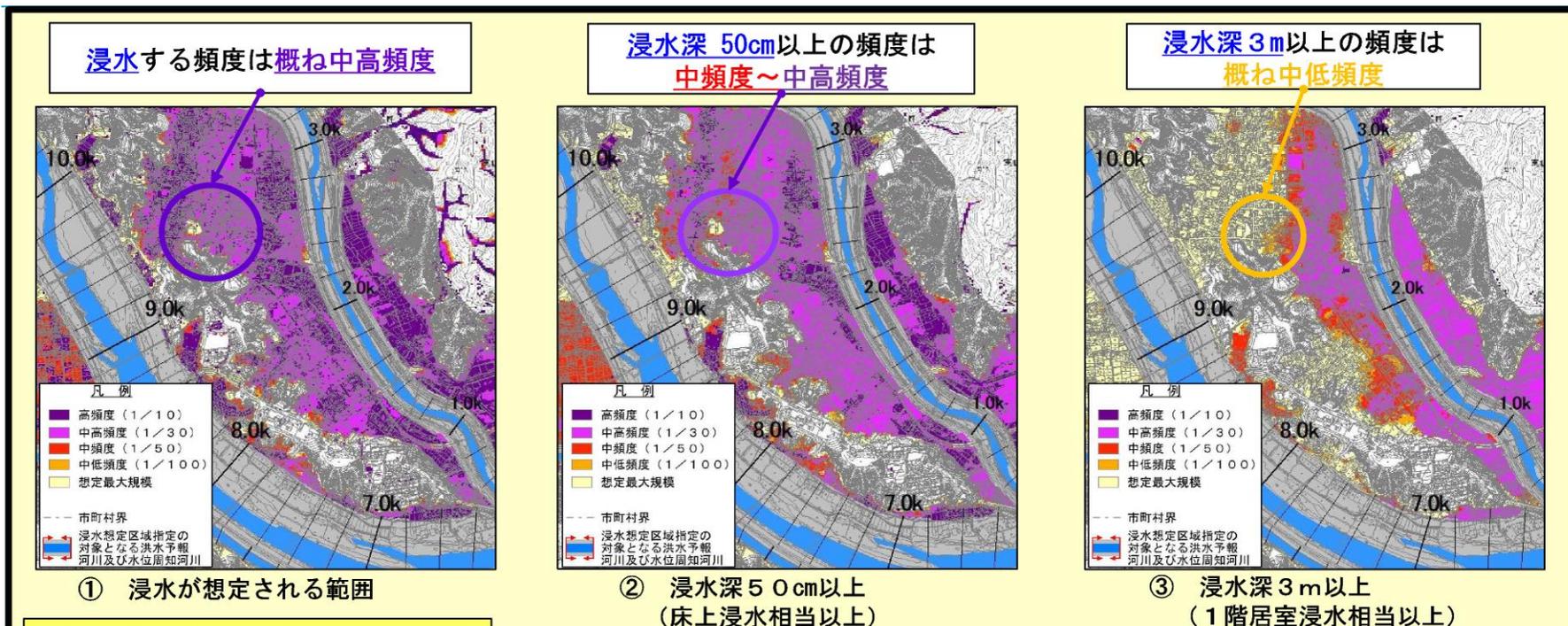
- ハザード情報（内外水統合型リスクマップ等）を活用し、その地域の特性に応じた水害リスクの評価を実施することができる。
- 水害リスク評価結果より、水害リスクの高いエリアが抽出され、居住誘導区域の設定や重要拠点の移転等、防災まちづくり計画への反映等が期待できる。



ハザード情報の活用



○具体的な活用事例は以下のとおり。



3つの図を並べて見比べる

- ⇒ **【土地利用や住まい方の工夫に利用する場合】**
 居住スペースや1階をピロティ構造（1階を柱だけの空間にして2階以上を居住スペース、あるいは事務所などにする建築様式）にするなど、建築構造の参考にするなどの活用が考えられます。
- ⇒ **【企業立地選択等に利用する場合】**
 浸水頻度の高い場所への施設の立地を避けるほか、浸水確率を踏まえて事業継続に必要な資機材を2階以上に移動する、止水壁を設置するといった対策の検討に活用することが考えられます。
- ⇒ **【水災害リスクを踏まえたまちづくり・避難所設置に利用する場合】**
 立地適正化計画における防災指針の検討・作成への活用などが考えられます。

2. 多段階浸水想定図と水害リスクマップ

■多段階の浸水想定図

- 多段階の浸水想定図は、洪水浸水想定区域図と同じ作成方法で、3つの降雨シナリオと4種類の降雨確率に対して作成。

■水害リスクマップ

- 水害リスクマップは3つの降雨シナリオと3種類の浸水区分に対して作成。
- 水害リスクマップは確率規模毎の計算結果(多段階の浸水想定図)を重ねて表示。

○降雨シナリオの種類

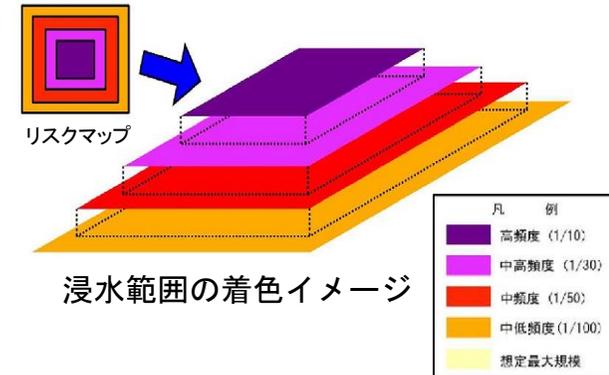
降雨シナリオ	備考
①主要河川の氾濫	国管理河川(洪水予報河川) 県管理河川(水位周知河川)
②その他河川の氾濫	①以外の一級河川
③下水道等	準用河川や普通河川、下水道等の水路
④内外水統合版	①+②+③

※公表対象となるのは④

○浸水範囲の着色イメージ(水害リスクマップ)

区分	降雨の確率規模
高頻度	1/10
中高頻度	1/30
中頻度	1/50
中低頻度	1/100
想定最大規模	1/1000以上

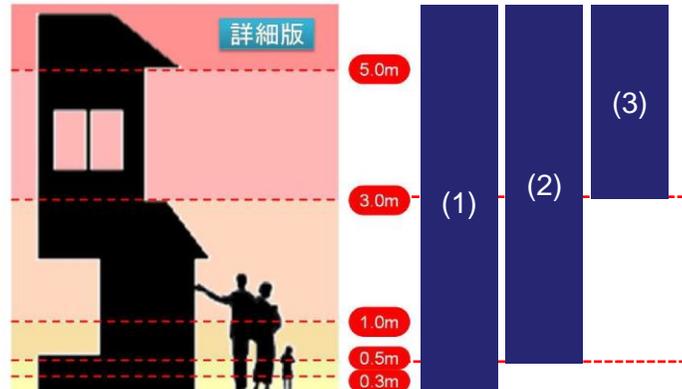
計算結果が重なる場所は、**最高頻度の色を優先**させて表示する



○浸水区分の種類

- 多段階の浸水想定図(浸水深ごとに色分け)

浸水深等	RGB(詳細版)
20m ~	220,122,220
10m ~ 20m	242,133,201
5m ~ 10m	255,145,145
3m ~ 5m	255,183,183
1m ~ 3m	255,216,192
0.5m ~ 1m	248,225,166
0.3m ~ 0.5m	247,245,169
~ 0.3m	255,255,179



- 水害リスクマップ(浸水区分ごとに図面を作成)

浸水区分	備考
(1) 0cmより大きい	浸水が想定される範囲 (ただし、②③については、浸水深が10cm未満の浸水範囲は除外)
(2) 50cm以上	家屋の床上浸水相当以上
(3) 3m以上	家屋の1階軒下浸水相当以上 (家屋の1階が水没する範囲)

3. 内外水統合型水害リスクマップの公表に向けた今後の流れ

- 内外水統合型水害リスクマップは、令和4年度より検討しており、現況河道を令和7年度中に公表する予定である。
- 将来河道（短期河道 及び 整備計画河道）についても、今後検討の上、令和8年度以降に追加公表予定である。

これまでの経緯と公表までのスケジュール(予定)

令和4～5年度

- 高津川水系において、内外水統合型水害リスクマップの検討を開始（現況河道で検討を実施）
- 内外水統合型水害リスクマップ作成の解析条件について協議し、概ね合意

令和6年度

- 令和4～5年度の検討結果を基に、内外水統合型水害リスクマップ(案)を作成
 - 令和6年12月9日 益田市へ内外水統合型水害リスクマップ(案)を報告
 - 令和7年2月10日 島根県へ内外水統合型水害リスクマップ(案)を報告

令和7年度

- 令和8年2月9日 高津川水系流域治水協議会(書面開催)で確認のうえ、公表

令和8年度以降

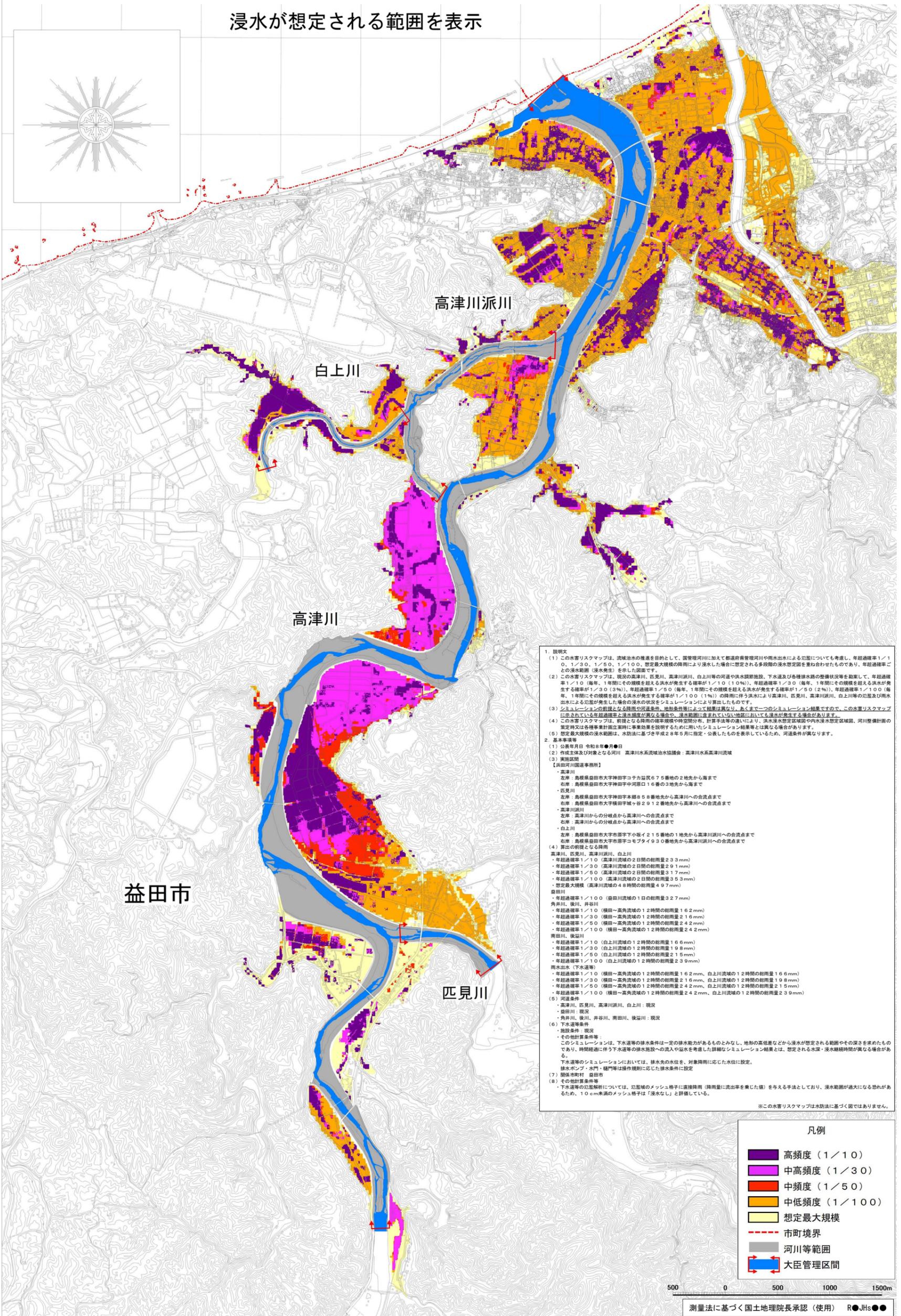
- 将来河道(短期河道 及び 整備計画河道)において、内外水統合型水害リスクマップを検討、作成、追加公表する予定。
- 将来河道の内外水統合型リスクマップについて作成次第、関係機関に確認を依頼(必要に応じて協議)

関係機関で公表について問題がないことを確認

「高津川水系内外水統合型水害リスクマップ」を高津川水系流域治水協議会として公表

高津川水系 内外水統合の水害リスクマップ 【現況河道】

浸水が想定される範囲を表示



1. 説明文

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/100、1/300、1/500、1/1000、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定範囲を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、現況の高津川、匹見川、高津川派川、白上川等の河川や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（10%）、年超過確率1/300（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/300（3%）、年超過確率1/500（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/500（2%）、年超過確率1/1000（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/1000（1%））の降雨に伴う洪水により高津川、匹見川、高津川派川、白上川等の氾濫及び雨水出水による浸水が発生した際の浸水の状況シミュレーションにより算出したものです。

(3) 高津川派川の氾濫は、地形条件等によって結果は異なるため、あくまで一つのシミュレーション結果です。この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水範囲が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地域においても浸水が発生する場合があります。

(4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率や時間分布、計算手法等の違いにより、浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の浸水想定区域図等と異なる結果となる場合があります。浸水範囲は、地形条件等によって結果は異なるため、あくまで一つのシミュレーション結果です。

(5) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、河川条件が異なります。

2. 基本事項

(1) 公表年月日 令和8年●月●日

(2) 作成主体及び対象となる河川 高津川水系流域治水協議会 高津川水系高津川流域

(3) 実施機関
【高津川】
高津川 鳥取県益田市大字神田字コナカ坂675番地の2地先から高津川まで
右岸 鳥取県益田市大字神田字中河原口16番の3地先から高津川まで
【匹見川】
左岸 鳥取県益田市大字神田字本郷858番地先から高津川への合流点まで
右岸 鳥取県益田市大字神田字本郷912番地先から高津川への合流点まで
【高津川】
左岸 高津川からの分岐点から高津川への合流点まで
右岸 高津川からの分岐点から高津川への合流点まで
【白上川】
左岸 鳥取県益田市大字市原字下小坂イ21番地の1地先から高津川への合流点まで
右岸 鳥取県益田市大字市原字コモツイ930番地先から高津川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨
高津川、匹見川、高津川派川、白上川
・年超過確率1/100（高津川流域の2日間の総雨量233mm）
・年超過確率1/300（高津川流域の2日間の総雨量291mm）
・年超過確率1/500（高津川流域の2日間の総雨量317mm）
・年超過確率1/1000（高津川流域の2日間の総雨量353mm）
・想定最大規模（高津川流域の4日間の総雨量497mm）
益田川
・年超過確率1/100（益田川流域の1日間の総雨量327mm）
角井川、後川、井谷川
・年超過確率1/100（横田～高角流域の12時間の総雨量162mm）
・年超過確率1/300（横田～高角流域の12時間の総雨量216mm）
・年超過確率1/500（横田～高角流域の12時間の総雨量242mm）
・年超過確率1/1000（横田～高角流域の12時間の総雨量242mm）
南田川、後田川
・年超過確率1/100（白上川流域の12時間の総雨量166mm）
・年超過確率1/300（白上川流域の12時間の総雨量198mm）
・年超過確率1/500（白上川流域の12時間の総雨量215mm）
・年超過確率1/1000（白上川流域の12時間の総雨量239mm）
雨水出水（下水道等）
・年超過確率1/100（横田～高角流域の12時間の総雨量162mm、白上川流域の12時間の総雨量166mm）
・年超過確率1/300（横田～高角流域の12時間の総雨量216mm、白上川流域の12時間の総雨量198mm）
・年超過確率1/500（横田～高角流域の12時間の総雨量242mm、白上川流域の12時間の総雨量215mm）
・年超過確率1/1000（横田～高角流域の12時間の総雨量242mm、白上川流域の12時間の総雨量239mm）

(5) 河川条件
・高津川、匹見川、高津川派川、白上川：現況
・益田川：現況
・角井川、後川、井谷川、南田川、後田川：現況

(6) 下水道等条件
・施設条件：現況
・その他計算条件等：
このシミュレーションは、下水道等の排水条件は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水害・浸水継続時間が異なる場合があります。
下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象流域に同じ水位に設定。
排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件に設定

(7) 関係市町村 益田市

(8) その他計算条件等
・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に連続降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を代入する手法としており、浸水範囲が過大になる恐れがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

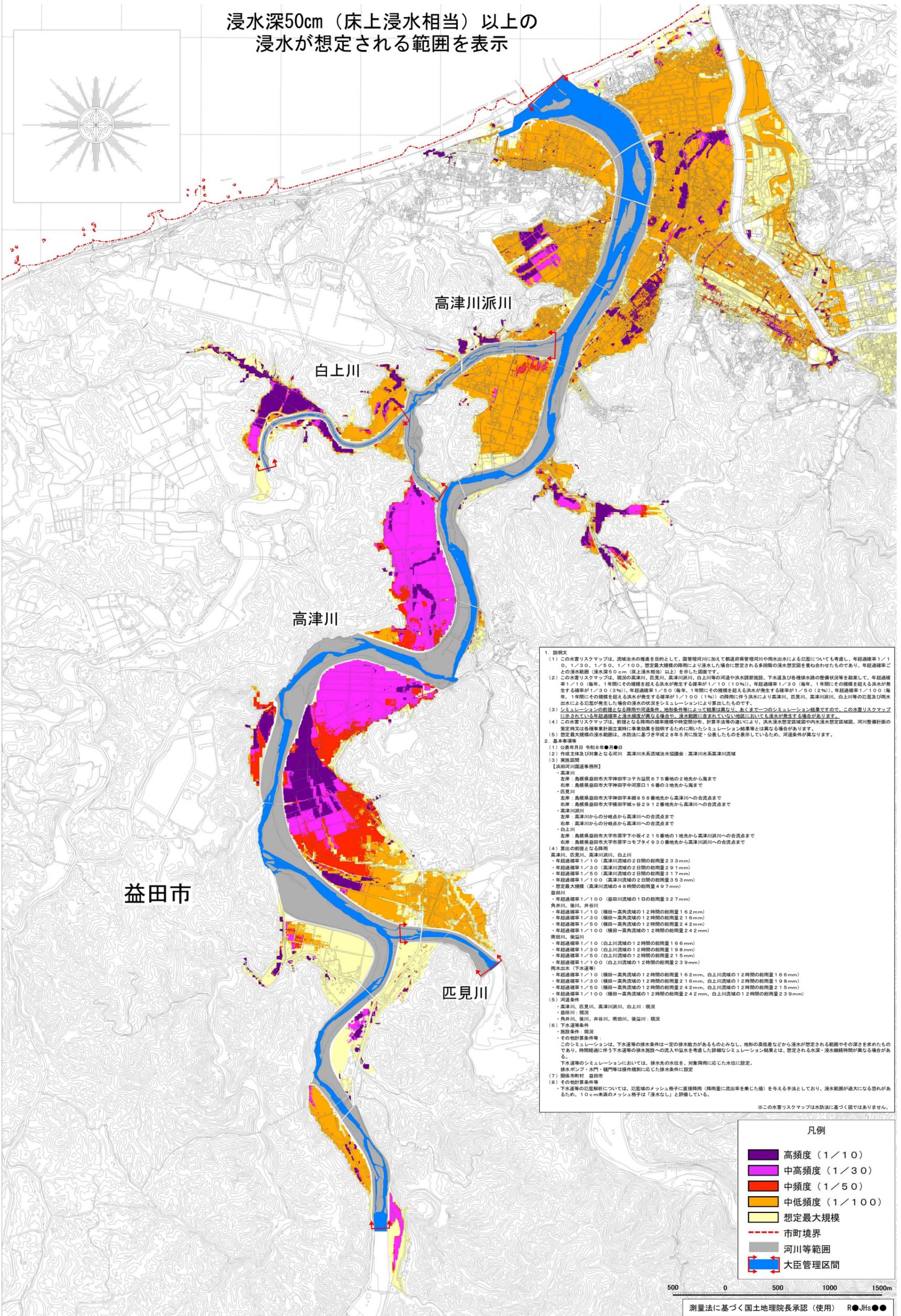
凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 想定最大規模
- 市町境界
- 河川等範囲
- 大臣管理区間

高津川水系 内外水統合の水害リスクマップ

【現況河道】

浸水深50cm（床上浸水相当）以上の
浸水が想定される範囲を表示



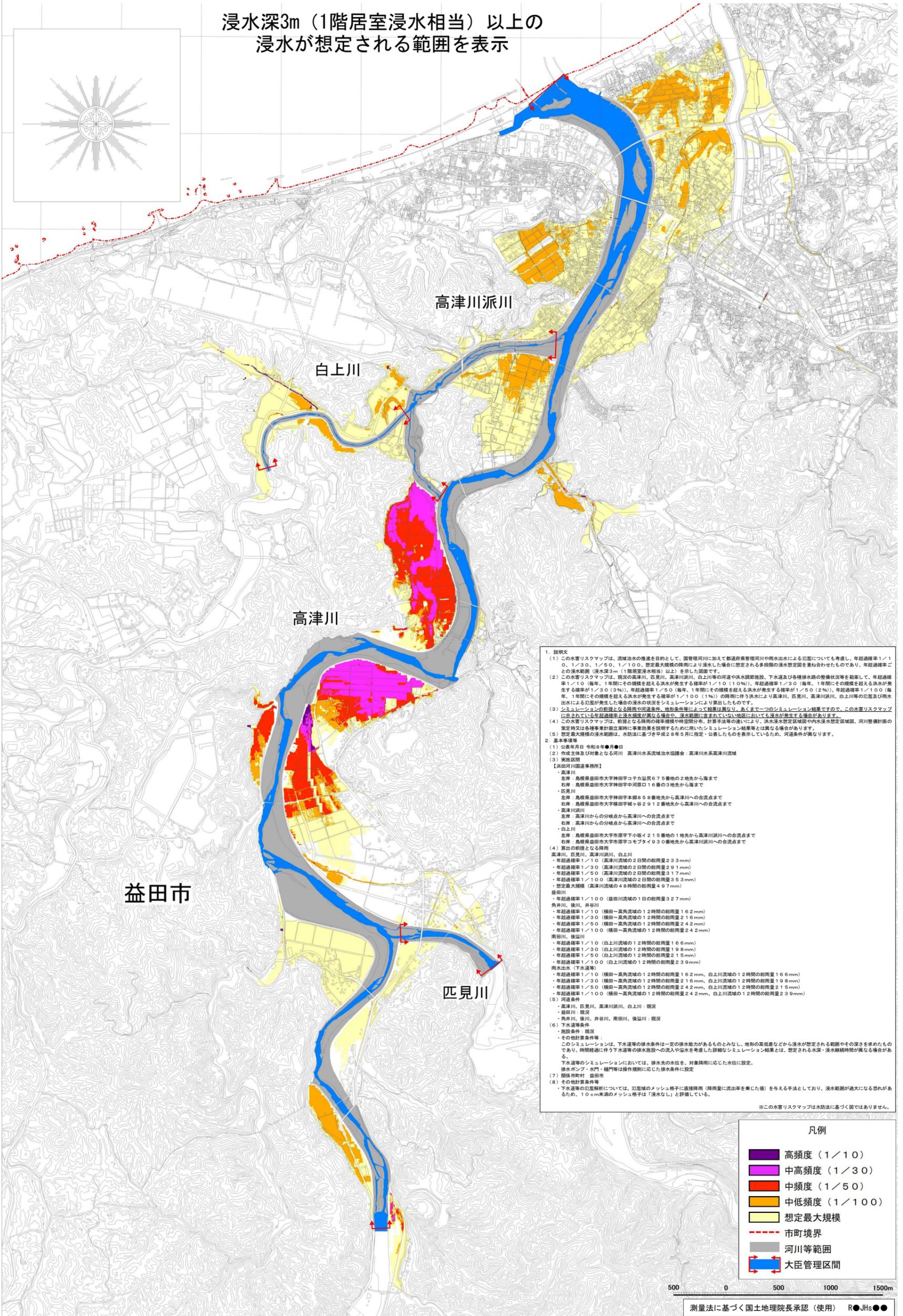
- 説明文
 - この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/100、1/300、1/500、1/1000、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定範囲を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm（床上浸水相当）以上）を示した図面です。
 - この水害リスクマップは、現況の高津川、匹見川、高津川派川、白上川等の河川や排水設備施設、下水道及び各種排水設備の整備状況を勘案して、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える浸水が発生する確率が1/100（1.0%））、年超過確率1/300（毎年、1年間にその規模を超える浸水が発生する確率が1/300（3.3%））、年超過確率1/500（毎年、1年間にその規模を超える浸水が発生する確率が1/500（2.0%））、年超過確率1/1000（毎年、1年間にその規模を超える浸水が発生する確率が1/1000（0.1%））の降雨に伴う洪水により高津川、匹見川、高津川派川、白上川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - シミュレーションの前提となる地形や河川断面、施設的位置などは、あくまでも一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水範囲が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地域においても浸水が発生する場合があります。
 - この水害リスクマップは、前提となる降雨の発生規模や時間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定機又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。
 - 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年9月に指定・公表したものを表示しているため、河況条件が異なります。
- 基本事項等
 - 公表年月日 令和8年●月●日
 - 作成主体及び対象となる河川 高津川水系流域治水協議会 高津川水系高津川流域
 - 実施機関
 - 【浜田河川国道事務所】
 - 高津川
 - 左岸：鳥取県益田市大字神田字コナ益尻675番地の2地先から海まで
 - 右岸：鳥取県益田市大字神田字中河原口16番の0地先から海まで
 - 匹見川
 - 左岸：鳥取県益田市大字神田字本郷858番地先から高津川への合流点まで
 - 右岸：鳥取県益田市大字神田字ヶ谷2912番地先から高津川への合流点まで
 - 高津川派川
 - 左岸：高津川からの分岐点から高津川への合流点まで
 - 右岸：高津川からの分岐点から高津川への合流点まで
 - 白上川
 - 左岸：鳥取県益田市大字市原字下小坂イ215番地の1地先から高津川派川への合流点まで
 - 右岸：鳥取県益田市大字市原字コモチイ930番地先から高津川派川への合流点まで
 - 算出の前提となる降雨
 - 高津川、匹見川、高津川派川、白上川
 - 年超過確率1/100（高津川流域の2日間の総雨量233mm）
 - 年超過確率1/300（高津川流域の2日間の総雨量291mm）
 - 年超過確率1/500（高津川流域の2日間の総雨量317mm）
 - 年超過確率1/1000（高津川流域の2日間の総雨量353mm）
 - 想定最大規模（高津川流域の4日間の総雨量497mm）
 - 益田川
 - 年超過確率1/100（益田川流域の1日間の総雨量327mm）
 - 角井川、後谷川、井谷川
 - 年超過確率1/100（横田～高角流域の12時間の総雨量162mm）
 - 年超過確率1/300（横田～高角流域の12時間の総雨量216mm）
 - 年超過確率1/500（横田～高角流域の12時間の総雨量242mm）
 - 年超過確率1/1000（横田～高角流域の12時間の総雨量242mm）
 - 南田川、後谷川
 - 年超過確率1/100（白上川流域の12時間の総雨量166mm）
 - 年超過確率1/300（白上川流域の12時間の総雨量198mm）
 - 年超過確率1/500（白上川流域の12時間の総雨量215mm）
 - 年超過確率1/1000（白上川流域の12時間の総雨量239mm）
 - 雨水出水、下水道等
 - 年超過確率1/100（横田～高角流域の12時間の総雨量166mm、白上川流域の12時間の総雨量166mm）
 - 年超過確率1/300（横田～高角流域の12時間の総雨量216mm、白上川流域の12時間の総雨量198mm）
 - 年超過確率1/500（横田～高角流域の12時間の総雨量242mm、白上川流域の12時間の総雨量215mm）
 - 年超過確率1/1000（横田～高角流域の12時間の総雨量242mm、白上川流域の12時間の総雨量239mm）
 - 河況条件
 - 高津川、匹見川、高津川派川、白上川：現況
 - 益田川、後谷川
 - 角井川、後谷川、井谷川、南田川、後谷川：現況
 - 下水道等条件
 - 施設条件：現況
 - その他計算条件等
 - 下水道等の排水条件は、下水道等の排水能力があるものとみなし、地形の高差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や雨水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合がある。
 - 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に同じ水位に設定。
 - 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件に設定。
 - 関係市町村 益田市
 - その他計算条件等
 - 下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を考慮する手法としており、浸水範囲が過大になる恐れがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と詳細している。

- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。
- 凡例
- 高頻度（1/10）
 - 中高頻度（1/30）
 - 中頻度（1/50）
 - 中低頻度（1/100）
 - 想定最大規模
 - 市町境界
 - 河川等範囲
 - 大臣管理区間

高津川水系 内外水統合の水害リスクマップ

【現況河道】

浸水深3m（1階居室浸水相当）以上の
浸水が想定される範囲を表示



1. 説明文

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定範囲を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深3m（1階居室浸水相当）以上）を示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、現況の高津川、匹見川、高津川派川、白上川等の河川や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を踏まえて、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える浸水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える浸水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える浸水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える浸水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水により高津川、匹見川、高津川派川、白上川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) シミュレーションの前段となる浸水想定、地形条件等によって結果は異なる、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水範囲が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地域においても浸水が発生する場合があります。

(4) この水害リスクマップは、前段となる降雨の確率規模や時間分布、計算手法等の違いにより、浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定機又は各種事業計画立案時に事業効果等を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

(5) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年9月に指定・公表したものを表示しているため、河況条件が異なります。

2. 基本事項等

(1) 公表年月日 令和8年●月●日

(2) 作成主体及び対象となる河川 高津川水系流域治水協議会 高津川水系高津川流域

(3) 実施機関

【浜田河川国道事務所】

- 高津川
 - 左岸：鳥取県益田市大字神田字コナ益原675番地の2地先から海まで
 - 右岸：鳥取県益田市大字神田字中河原口16番の0地先から海まで
- 匹見川
 - 左岸：鳥取県益田市大字神田字本郷858番地先から高津川への合流点まで
 - 右岸：鳥取県益田市大字神田字ツツ谷2912番地先から高津川への合流点まで
- 高津川派川
 - 左岸：高津川からの分岐点から高津川への合流点まで
 - 右岸：高津川からの分岐点から高津川への合流点まで
- 白上川
 - 左岸：鳥取県益田市大字市原字下小坂イ215番地の1地先から高津川派川への合流点まで
 - 右岸：鳥取県益田市大字市原字コモツイ930番地先から高津川派川への合流点まで

(4) 算出の前段となる降雨

高津川、匹見川、高津川派川、白上川

- 年超過確率1/10（高津川流域の2日間の総雨量233mm）
- 年超過確率1/30（高津川流域の2日間の総雨量291mm）
- 年超過確率1/50（高津川流域の2日間の総雨量317mm）
- 年超過確率1/100（高津川流域の2日間の総雨量353mm）

想定最大規模（高津川流域の4日間の総雨量497mm）

益田川

- 年超過確率1/100（益田川流域の1日間の総雨量327mm）

角井川、後谷川

- 年超過確率1/10（益田川流域の12時間の総雨量162mm）
- 年超過確率1/30（益田川流域の12時間の総雨量216mm）
- 年超過確率1/50（益田川流域の12時間の総雨量242mm）
- 年超過確率1/100（益田川流域の12時間の総雨量242mm）

南田川、後谷川

- 年超過確率1/10（白上川流域の12時間の総雨量166mm）
- 年超過確率1/30（白上川流域の12時間の総雨量198mm）
- 年超過確率1/50（白上川流域の12時間の総雨量215mm）
- 年超過確率1/100（白上川流域の12時間の総雨量239mm）

雨水出水、下水道等

- 年超過確率1/10（益田川流域の12時間の総雨量166mm、白上川流域の12時間の総雨量166mm）
- 年超過確率1/30（益田川流域の12時間の総雨量216mm、白上川流域の12時間の総雨量198mm）
- 年超過確率1/50（益田川流域の12時間の総雨量242mm、白上川流域の12時間の総雨量215mm）
- 年超過確率1/100（益田川流域の12時間の総雨量242mm、白上川流域の12時間の総雨量239mm）

(5) 河況条件

- 高津川、匹見川、高津川派川、白上川：現況
- 益田川、後谷川
- 角井川、後谷川、南田川、後谷川：現況

(6) 下水道等条件

- 施設条件：現況
- その他計算条件等
 - 下水道等の排水条件は、下水道等の排水能力があるものとみなし、地形の高差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や雨水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合がある。
 - 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。
 - 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件に設定。

(7) 関係市町村 益田市

(8) その他計算条件等

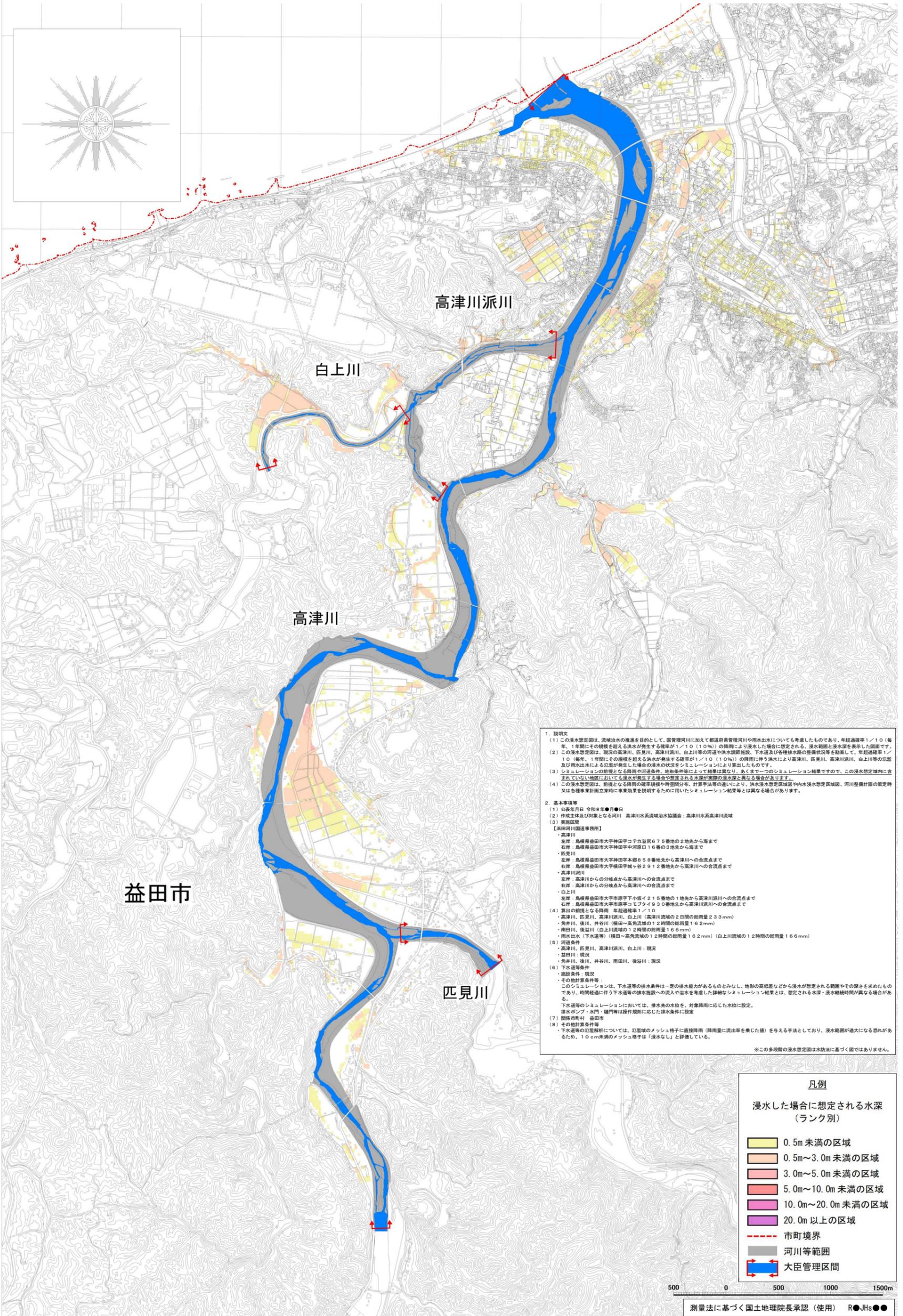
- 下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に連続降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を考慮する手法としており、浸水範囲が過大になる恐れがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例

高頻度 (1/10)
中高頻度 (1/30)
中頻度 (1/50)
中低頻度 (1/100)
想定最大規模
市町境界
河川等範囲
大臣管理区間

高津川水系 内外水統合の浸水想定図 (1/10規模降雨) 【現況河道】



1. 説明文

(1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水についても考慮したものであり、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

(2) この浸水想定図は、現況の高津川、匹見川、高津川派川、白上川等の河川や決壊箇所施設、下水道及び各種排水施設の整備状況等を踏まえて、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)の降雨に付う洪水により高津川、匹見川、高津川派川、白上川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) シミュレーションの前提となる降雨や河川条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合は想定される浸水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

(4) この浸水想定図は、前提となる降雨の確率規模や時間配分、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 公表年月日 令和8年●月●日

(2) 作成主体及び対象となる河川 高津川水系流域治水協議会・高津川水系高津川流域

(3) 実施区域

【高津川(国道事務所)】

- 高津川
 - 左岸：鳥根県益田市大字神田字コナカ谷尻675番地の2地先から海まで
 - 右岸：鳥根県益田市大字神田字中河原口16番の3地先から海まで
- 匹見川
 - 左岸：鳥根県益田市大字神田字本郷858番地先から高津川への合流点まで
 - 右岸：鳥根県益田市大字神田字城ヶ谷2912番地先から高津川への合流点まで
- 高津川派川
 - 左岸：高津川からの分岐点から高津川への合流点まで
 - 右岸：高津川からの分岐点から高津川への合流点まで
- 白上川
 - 左岸：鳥根県益田市大字南原字下小坂イ215番地の1地先から高津川派川への合流点まで
 - 右岸：鳥根県益田市大字南原字コモトイ930番地先から高津川派川への合流点まで

(4) 算定の前提となる降雨 年超過確率1/10

- 高津川、匹見川、高津川派川、白上川 (高津川流域の2日間の総雨量233mm)
- 角井川、後川、井谷川 (横田～高角流域の12時間の総雨量162mm)
- 南田川、後沼川 (白上川流域の12時間の総雨量166mm)
- 雨水出水(下水道等) (横田～高角流域の12時間の総雨量162mm) (白上川流域の12時間の総雨量166mm)

(5) 河川条件

- 高津川、匹見川、高津川派川、白上川：現況
- 益田市：現況
- 角井川、後川、井谷川、南田川、後沼川：現況

(6) 下水道等条件

- 施設条件：現況
- その他計算条件等
 - このシミュレーションは、下水道等の排水条件は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される浸水深・浸水継続時間が異なる場合があります。
 - 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に即した水位に設定。
 - 排水ポンプ・溢門・樋門等は操作規則に応じた排水条件に設定。

(7) 関係市町村 益田市

(8) その他計算条件等

- 下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に連続降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を代入する手法としており、浸水範囲が過大になる恐れがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

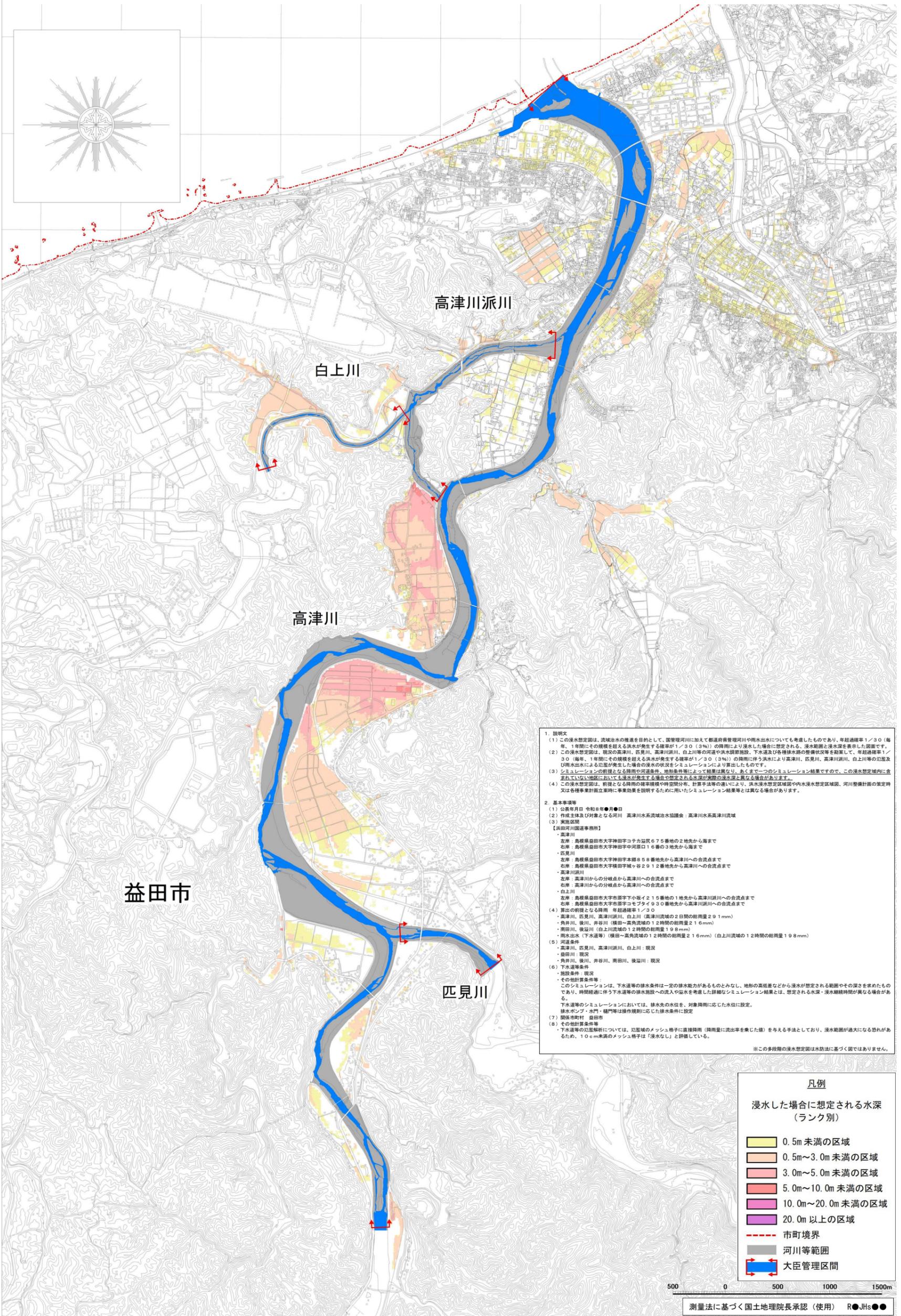
※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡例

浸水した場合に想定される水深 (ランク別)

0.5m 未満の区域
0.5m～3.0m 未満の区域
3.0m～5.0m 未満の区域
5.0m～10.0m 未満の区域
10.0m～20.0m 未満の区域
20.0m 以上の区域
市町境界
河川等範囲
大臣管理区間

高津川水系 内外水統合の浸水想定図 (1/30規模降雨) 【現況河道】



1. 説明文

(1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水についても考慮したものであり、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)の期間により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を明示した図面です。

(2) この浸水想定図は、現況の高津川、匹見川、高津川派川、白上川等の河川や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)の期間に平均3.0mmにより高津川、匹見川、高津川派川、白上川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) シミュレーションの前提となる降雨や河川条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果です。この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合は想定される浸水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

(4) この浸水想定図は、前提となる降雨の確率密度や時間配分、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

2. 基本事項

(1) 公表年月日 令和8年●月●日

(2) 作成主体及び対象となる河川 高津川水系流域治水協議会：高津川水系高津川流域

(3) 実施区域

【高津川(国道事務所)】

- 高津川
 - 左岸：鳥取県益田市大字神田字コナカ谷尻675番地の2地先から海まで
 - 右岸：鳥取県益田市大字神田字中河原口16番の3地先から海まで
- 匹見川
 - 左岸：鳥取県益田市大字神田字本郷858番地先から高津川への合流点まで
 - 右岸：鳥取県益田市大字神田字城ヶ谷2912番地先から高津川への合流点まで
- 高津川派川
 - 左岸：高津川からの分岐点から高津川への合流点まで
 - 右岸：高津川からの分岐点から高津川への合流点まで
- 白上川
 - 左岸：鳥取県益田市大字南原字下小坂イ215番地の1地先から高津川派川への合流点まで
 - 右岸：鳥取県益田市大字南原字コモコイ930番地先から高津川派川への合流点まで

(4) 算定の前提となる降雨 年超過確率1/30

- 高津川、匹見川、高津川派川、白上川 (高津川流域の2日間の総雨量291mm)
- 角井川、後川、井谷川 (横田～高角流域の12時間の総雨量216mm)
- 南田川、後谷川 (白上川流域の12時間の総雨量198mm)
- 雨水出水(下水道) (横田～高角流域の12時間の総雨量216mm) (白上川流域の12時間の総雨量198mm)

(5) 河川条件

- 高津川、匹見川、高津川派川、白上川：現況
- 益田市：現況
- 角井川、後川、井谷川、南田川、後谷川：現況

(6) 下水道等条件

- 施設条件：現況
- その他計算条件等
 - このシミュレーションは、下水道等の排水条件は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水能力への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。
 - 下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大になる恐れがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

(7) 関係市町村 益田市

(8) その他計算条件等

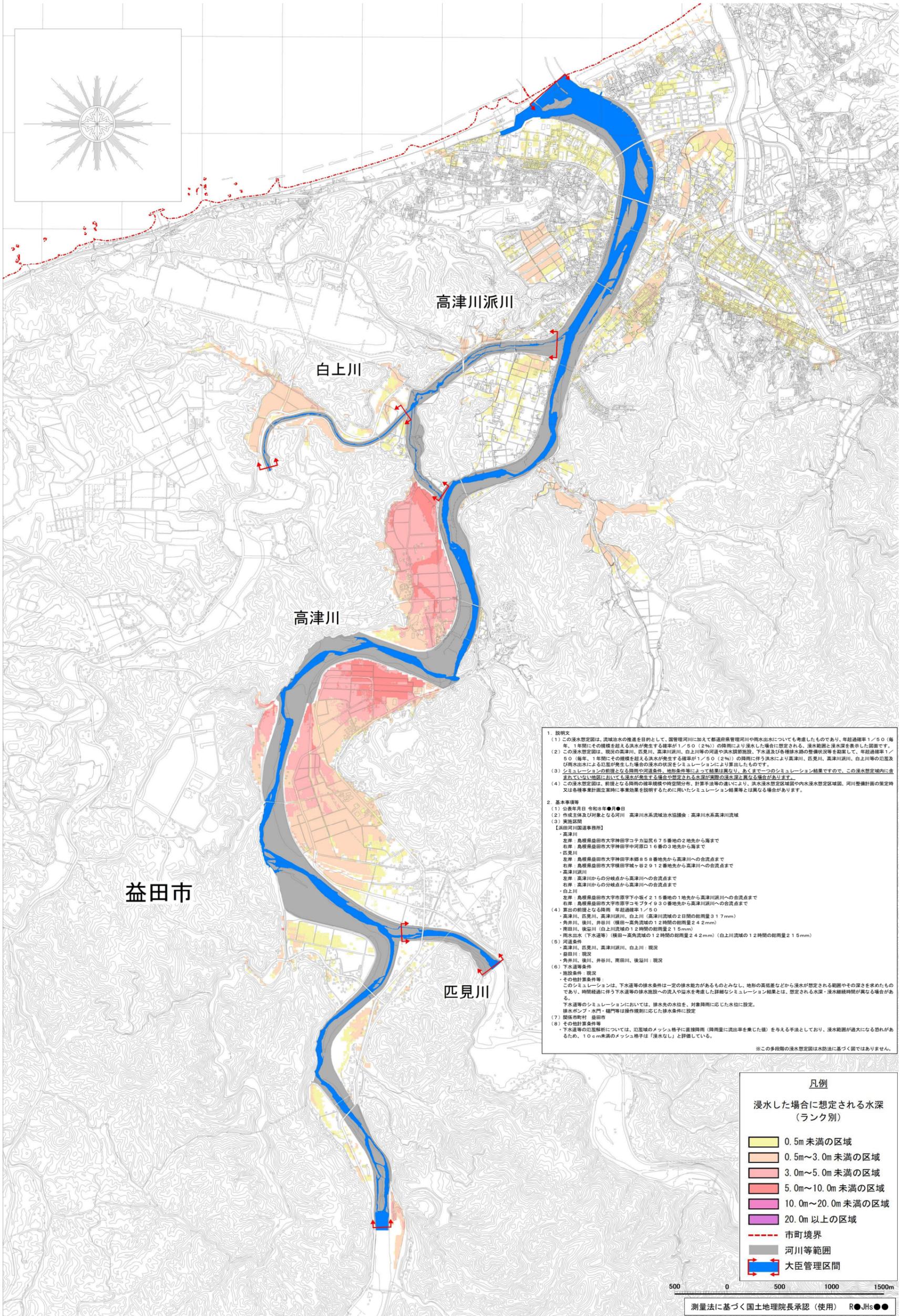
※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡例

浸水した場合に想定される水深 (ランク別)

0.5m未満の区域
0.5m～3.0m未満の区域
3.0m～5.0m未満の区域
5.0m～10.0m未満の区域
10.0m～20.0m未満の区域
20.0m以上の区域
市町境界
河川等範囲
大臣管理区間

高津川水系 内外水統合の浸水想定図 (1/50規模降雨) 【現況河道】



1 説明文

(1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水についても考慮したものであり、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

(2) この浸水想定図は、現況の高津川、匹見川、高津川派川、白上川の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)の降雨に伴う浸水により高津川、匹見川、高津川派川、白上川の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地盤条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。浸水深と異なる場合があります。

(4) この浸水想定図は、数値となる降雨の確率規模や時間区分、計算手法等の違いにより、洪水発生想定区域や内水浸水想定区域、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

2 基本事項

(1) 公表年月日 令和8年●月●日

(2) 作成主体及び対象となる河川 高津川水系流域治水協議会：高津川水系高津川流域

(3) 実施区域

【浜田河川国道事務所】

・高津川
左岸：鳥取県益田市大字神田字コナカ沢675番地の2地先から海まで
右岸：鳥取県益田市大字神田字中河原口16番の3地先から海まで

・匹見川
左岸：鳥取県益田市大字神田字本郷858番地先から高津川への合流点まで
右岸：鳥取県益田市大字神田字城ヶ谷2912番地先から高津川への合流点まで

・高津川派川
左岸：高津川からの分岐点から高津川への合流点まで
右岸：高津川からの分岐点から高津川への合流点まで

・白上川
左岸：鳥取県益田市大字市原字下小坂イ215番地の1地先から高津川派川への合流点まで
右岸：鳥取県益田市大字市原字コモブタイ930番地先から高津川派川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/50

・高津川、匹見川、高津川派川、白上川(高津川流域の2日間の総雨量317mm)

・角井川、後川、井谷川(横田～高角流域の12時間の総雨量242mm)

・南田川、東谷川(白上川流域の12時間の総雨量215mm)

・雨水出水(下水道等) 横田～高角流域の12時間の総雨量242mm(白上川流域の12時間の総雨量215mm)

(5) 河道条件

・高津川、匹見川、高津川派川、白上川：現況

・益田市：現況

・角井川、後川、井谷川、南田川、後谷川：現況

(6) 下水道条件

・施設条件：現況

・その他計算条件等
このシミュレーションは、下水道等の排水条件は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、瞬間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。

下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。
排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件に設定。

(7) 関係市町村 益田市

(8) その他計算条件等

・下水道等の氾濫解除については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大になる恐れがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

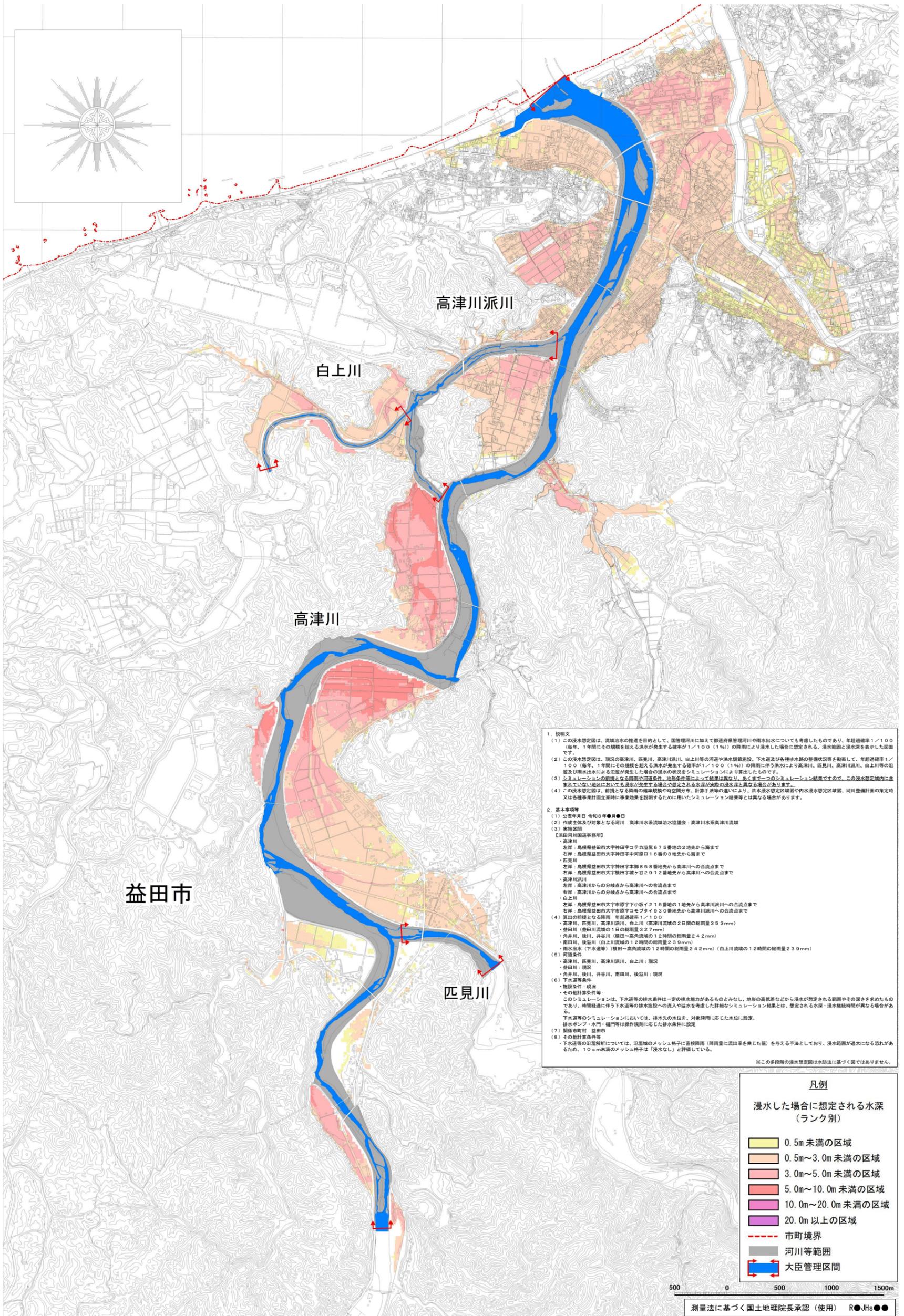
※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

0.5m未達の区域
0.5m～3.0m未達の区域
3.0m～5.0m未達の区域
5.0m～10.0m未達の区域
10.0m～20.0m未達の区域
20.0m以上の区域
市町境界
河川等範囲
大臣管理区間

高津川水系 内外水統合の浸水想定図 (1/100規模降雨) 【現況河道】



1 説明文

(1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水についても考慮したものであり、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面である。

(2) この浸水想定図は、現況の高津川、匹見川、高津川派川、白上川等の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)の降雨に伴う洪水により高津川、匹見川、高津川派川、白上川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものである。

(3) シミュレーションの前提となる地形や河床特性、土質特性等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果であるため、この浸水想定図内に含まれていない地域においても浸水が発生する可能性や想定される浸水深が異なる場合がある。

(4) この浸水想定図は、前提となる降雨の降雨規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時には各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 公表年月日 令和8年●月●日

(2) 作成主体及び対象となる河川 高津川水系流域治水協議会：高津川水系高津川流域

(3) 実施区域

【県内河川治水事務所】

- ・高津川
 - 左岸：鳥取県益田市大字神田字コテカ沢尻675番地の2地先から海まで
 - 右岸：鳥取県益田市大字神田字中河原口16番の3地先から海まで
- ・匹見川
 - 左岸：鳥取県益田市大字神田字本郷858番地先から高津川への合流点まで
 - 右岸：鳥取県益田市大字神田字城ヶ谷2912番地先から高津川への合流点まで
- ・高津川派川
 - 左岸：高津川からの分岐点から高津川への合流点まで
 - 右岸：高津川からの分岐点から高津川への合流点まで
- ・白上川
 - 左岸：鳥取県益田市大字市原字下小坂イ215番地の1地先から高津川派川への合流点まで
 - 右岸：鳥取県益田市大字市原字コテカ沢尻930番地先から高津川派川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/100

- ・高津川、匹見川、高津川派川、白上川(高津川流域の2日間の総雨量353mm)
- ・益田川(益田川流域の1日間の総雨量327mm)
- ・角井川、井谷川(横田～高角流域の12時間の総雨量242mm)
- ・南田川、後沼川(白上川流域の12時間の総雨量239mm)
- ・雨水出水(下水道等)(横田～高角流域の12時間の総雨量242mm)(白上川流域の12時間の総雨量239mm)

(5) 河道条件

- ・高津川、匹見川、高津川派川、白上川：現況
- ・益田川：現況
- ・角井川、後沼川、井谷川、南田川、後沼川：現況

(6) 下水道等条件

- 施設条件：現況
- その他計算条件等：このシミュレーションは、下水道等の排水条件は一定の排水能力があるものとし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間異なる場合がある。下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件に設定。

(7) 関係市町村：益田市

(8) その他計算条件等

- ・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に重複降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を考慮する手法としており、浸水範囲が過大になる恐れがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

0.5m未満の区域
0.5m～3.0m未満の区域
3.0m～5.0m未満の区域
5.0m～10.0m未満の区域
10.0m～20.0m未満の区域
20.0m以上の区域
市町境界
河川等範囲
大臣管理区間